

中間報告書添付写真 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター・ICAN
ミンダナオ島紛争地ピキットにおける教育を通じた平和構築事業（フェーズ2）

1、ハードコンポーネント

(イ) ダトゥ・エンバック・マンガンシン・メモリアル中学校（3教室とトイレ付校舎） 75%終了



校舎基本構造と屋根部分が完成。これまで竹製の小屋のような教室しかなかった学校に本格的な校舎が姿を見せ始め、生徒や先生たちだけでなく、村人たちの注目も集めている。



基礎工事が始まった現場



セメントと砂利を混ぜる



床の盛り土の搬入

(ロ) バラバック小学校（2教室の修復工事） 85%終了



教室内の床や窓、内装を除いてほぼ修復が終わった。床面を上げて校庭から水が入らないように修正した。屋根が高くなった分天井が上がり、教室は解放感が出た。



天井の設置工事



屋根の鉄骨を支える柱と梁



鉄骨の組み立てられた屋根

(ハ) バラティカン小学校 (2棟6教室およびトイレの修復工事) 99%終了



修復を終えた右の棟 (3 教室)。屋根の取り替え、天井板と構造材の取り換え、窓とドアの改修、ひさし部分の構造材と天板の張り替えが行われた。内装、外装も塗り直された。



ひさし板の交換



屋根のトタン板の交換



教室内のデザイン塗り



修復を終えた左の棟(3 教室)



壁の『平和の学校』のロゴ



修復された窓枠



雨水を貯める水タンク



外装を修復したトイレ



トイレの手押し井戸

2、ソフトコンポーネント

(ホ) 「平和の学校」研修



地域リーダーと村の問題を分かち合う教師。



トラウマを抱えた子どもへの対応を学ぶ教師たち。



子どもの権利について話し合う中学生たち。



身近な場所で起こるケンカや問題を寸劇で再現。



地域での暴力的な対立の経験を語る村人。



絵を張り合わせて銃の形を作り紛争のイメージを表現。



『平和の学校』が解決する課題を話し合い発表する教師。



紛争の解決方法を学ぶ地域リーダーたち。



護身の銃も学校に持ち込まないよう提案する村人。



研修で学んだ交渉方法を実践していきたいと語る村人。



違法伐採などの環境問題についても議論する教師たち。



自らの考える平和のイメージについて表現する小学生。